

避難所運営ゲーム HUG



防災塾・だるま

中村俊光

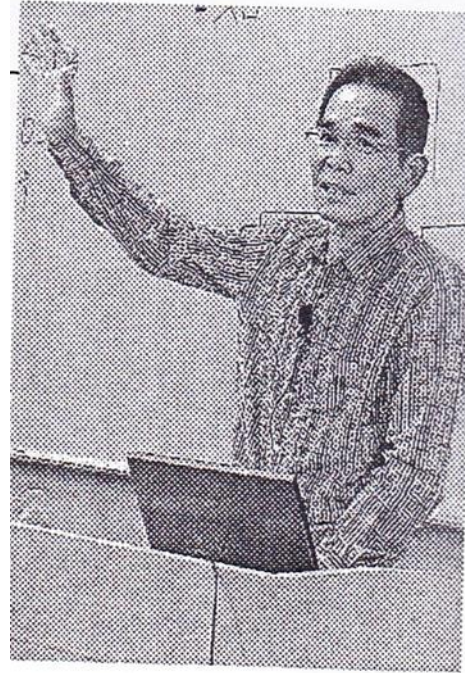
「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」 HUG風景



2012.12.23(日)神奈川新聞「減災新聞」

ゲームの経験、本番に…

横浜で行われた「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」の避難所運営ゲーム(HUG)で講師を務めた中村俊光さん(58)＝横浜市旭区＝「HUGは防災に取り組もうという人の入口としていいものだと思う。意見をまとめてよりよい方法を見つけるのは簡単ではないし、実際の避難所運営ゲームはゲーム通りにはならない。そこに気付き、イメージを広げるきっかけになれば、本番できっと役に立つはず」



避難所とは？

■避難所とは

- ・「災害のため、居住場所を確保できない者を、一時的に受け入れ保護する」場所です。
- ・避難所に充てられる場所は、安全が確認された公共的な建物を中心に、あらかじめ市町が指定します。

- 従って、予め指定されている建物でなければ、（発災後に急遽避難所として指定された場合を除いて）公共的な建物であってもむやみに入り込んで避難所としてしまうことはできません。

皆さんは、ここ建築小学校が避難所になります。



避難所運営ゲームHUG(ハグ)

◆避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、

◆避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくか、

を模擬体験するゲームです。



避難所運営に必要なこと

- ・組織づくり、居住組
- ・部屋割り、名簿の作成
- ・避難所運営本部の設置
- ・取材、問い合わせへの対応
- ・食料、物資の受け入れ、配給
- ・炊き出し、ごみ、風呂、ペット、トイレ
- ・ボランティアの受け入れ



避難所運営マニュアルの応用

実際にやってみよう！

◆災害時要援護者への対応

◆必要なスペースの確保

◆いろいろな出来事への対応



本日のゲームの条件(1)

地震発生

きょうは、7月20日(土)

ここは建築小学校(避難所)

現在時刻は午前10時

午前6時に大地震発生

マグニチュード 8.0

震源 小田原直下

震源の深さ40キロ



本日のゲームの条件(2)

ライフライン

- 電気 停電している。
- ガス 遮断している。
- 水道 断水
- 電話 ときどき通じる。
- メール 遅れて届く。
- 下水道 不明



本日のゲームの条件(3)

避難所の小学校の被害

耐震化してあるため校舎、体育館に大きな被害はなく、応急危険度判定の結果利用できる。

地区配備隊が登校しているため、校舎と体育館の鍵は開いている。

津波の心配なし



本日のゲームの条件(4)

みなさんの立場

地元自治会、自主防災会の役員で、避難者を体育館や教室に振り分け避難所を適切に運営していかなければならない立場にある。

